

1. 第12回定期演奏会、盛会終了

第12回定期演奏会が、7月21日(土)に開催され、盛況のうちに終わりました。今回も例によって、12時前から折り畳み椅子持参のお姐様方が並び始め、その列は延々と長くなり、申し訳ない思いでいっぱいでしたが、それほど暑くなかったのだけが幸いでした。

2. お客様の声(1)

当日夜に私のお客様10名に感想を伺いました。いずれもコーラス仲間や身内の耳の肥えたベテランですので些か辛い意見ですが、ご参考までにご披露します。

チラシ：十年一律と言うが12年は？原案は残し帆船を加えたらどう

プログラム：解説が詳細で良く書けている。デザインは不変との事だが、曲目によって少しはデザインを変えないと読みづらいよ

Sailing!Sailing!：元気良く楽しい。皆さん表情が明るく生き生きとしている。

Blow the Man Dn：水夫の荒々しさ、厳しさをソロが良く出したと思う。

MingulayBsong：これはバグパイプの和音ですね。一寸、息が続かない感じ

Shenandoah：銀行屋さんのソロで「社念道」ですか。味がありますなあ

Fiddler's Green：四人の主役に圧倒されましたよ。個性に脱帽。お達者で！

Whisky Johnny：まあ適当に乱れてる所が酔っ払いの地でしょう。これもあり

Drummer&Cook：一寸低声部は舌がもつれましたな。でも楽しい曲ですね

GoodbyeFY Well：リズムも軽快でコーラスらしいコーラス。歌い込んである

Moon River：オードリーヘップバーンを思い出すなあ。懐かしい選曲ね

Pearly Shells：本格的なコーラスですね。転調が入って凝った編曲ですね

Red sails in S-S：凄いベースのリードに驚く。ウクレレで元気が良かったよ。

Molly malone：ガラスのように透明なソプラノで儂い感じが良く出ている。

The Water Is Wide：ますみ先生以前も歌ったよね。ギターとのコラボも美しい

大漁：金子みすずがコーラスになってるんだね。曲想が面白い。

海のふしぎ：ゆっくりした歌い方でじっくり聴いた。返って難しい曲だ。

うみにむかって：歌詞にオシッコだから驚くね。ユーモア・ソングだね

うみ：童謡ではなくムード歌謡のように精細。去年も今年も秀逸！

おやじの舟歌：大町さんの独壇場。亡くした息子さんの事を思うと胸に熱く

貝殻節：これは本格的な男声コーラスで立派。中間で少し乱れたね

Lowlands：大町正人衰えず。良い声だね。バックの気遣いで涙出そうに

Six Pence：相変わらず白石さんの指揮は元気良い。プロに名前がないよ

De Mosselman：可愛らしい童謡だそうだが、そんなにも可愛くもないよ

総評：相変わらずオール暗譜は驚いたよ。この年齢でよーやるわい

合唱団も聴衆も大町さんの体調を心配したが、流石にプロだ

団員も大勢になりパートバランスも良い。安心して聴ける。

大町さんの司会も乱れてるようで、ちゃんと計算されてるね

時間が押したのは困る。サービスは分かるが時間は厳守で

(T1、米岡)

3. お客様の声(2)

私の知り合いからも感想・コメントを貰ったので、一部披露します。

心の温まる、いい演奏会でした。

おしゃべりしている人、写真撮ってる人がいます。つまみ出して下さい。

パートリーダーの川村さん、久保田さん、丸山さんのソロも聴けると、嬉しいです。

「今ソロを歌ってくれたのは、さんで

Weather Side 9 曲、Lee Side 9 曲、アンコール 3 曲をオール暗譜でこなししたのは、長年の経験によるものか、はたまた無謀な挑戦なのか。

打ち上げの司会者にも驚きましたが、大町キャプテンがそれに応えてたのが最高。新人諸氏のパフォーマンスも素晴らしかったですね。「日本丸合唱団は永遠です」とチョーさん風に言わねば。

す。」はわかりますが、「さんは、(昔)に

お務めです(のお偉いさんです)。」というのは嫌いです。何の関係があるのですか。(B2、山路)

4. プログラム係の反省

白石さんと佐藤さんの名前を落としてしまいました。深くお詫び申しあげます。いまのデザインはこの5年くらい連続です。毎年微修正はしてるのですが、飽きたという人もいますよね。